

パルス式家庭用超短波治療器

イト-レーター

ひまわりSUN2

(ひまわりさんさん)

添付文書

取扱説明書



管理医療機器
家庭用超短波治療器 (JMDNコード：70988000)
ひまわりSUN2
医療機器認証番号21700BZZ00051000

目次

正しく安全にお使いいただくために…… 2~13

- 1. 一般的注意事項 …………… 4
- 2. 使用前のご注意 …………… 6
- 3. 使用中のご注意 …………… 8
- 4. 使用後のご注意 …………… 10
- 保管方法及び有効期間等 …………… 10
- 取扱上のご注意 …………… 11
- 保守・点検に係る事項 …………… 11

エラー (E1、E2) について …………… 13

雑音を低減するための注意 …………… 13

ひまわりSUN2の構成内容 …………… 14・15

本体の各部名称とはたらき …………… 16・17

ひまわりSUN2の主な特長 …………… 18・19

基本的な使用例 …………… 20・21

使用順序 1〈準備〉 …………… 22・23

使用順序 2 …………… 24・25

故障かな?と思ったら …………… 26

操作早わかり …………… 27

お客様安心サービス …………… 裏表紙

- ・保証書とユーザー登録カードについて
- ・アフターサービス
- ・ISO認証取得
- ・健康セミナー

このたびは「ひまわりSUN2」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。
治療器を人に貸したり、差し上げるときには必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。

禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

- 高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人（糖尿病など温熱に対して感覚の鈍い人）
- 重度な血行障害のある部位
- 中程度以上の重い浮腫のある部位
- 血友病などの出血性素因の高い人
- 温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人
- 金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位
- 刺青及びその周辺部位・ラメ素材など化粧品が使用されている部位
- 出血部位
- 月経時の腹部
- 乳幼児（6才以下、異常に対して意思表示ができない危険があります）
- 男性生殖器
- 適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人
- 頭部（脳、目、耳など）
- その他、医師が不適当と認めた人

併用禁忌

- ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 心電計などの装着型の医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 補聴器は外してください。
- 他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。使用する場合は時間をずらして使用してください。

- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表していますので、内容を理解してから本文をお読みください。



危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害が想定される内容を示します。

表示例



は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。

正しく安全にお使いいただくために

1. 一般的注意事項



浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。

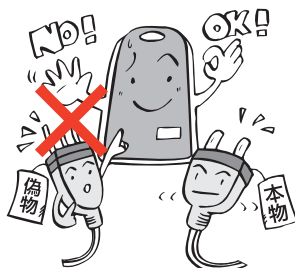


超短波導子は水に濡らさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。

超短波導子にソース・醤油・墨汁・インクなどをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。また、導子カバーは、洗濯などで汚れを落とし、十分乾燥させてからご使用ください。

他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。

規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。



補助を必要とする人（子供を含む）には使用させないでください（ただし、保護者、医師または専門家の監督下で使用する場合は除く）。また、子供が機器本体及び導子で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。

特にペットへの使用は避けてください。



治療中、温感が高すぎると感じたときは、我慢せずに治療を中止してください。または、タオルなどをあてて、熱さを弱めて治療してください。

本体背面及び側面の通気孔をふさぐような使い方（布団の上や下に置いたり、壁に寄せるなど）はしないでください。

本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。

本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用するときは移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。

交流100V、50／60Hz以外では使用しないでください。

規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。

コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。

タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をする和本器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。

定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。

操作を誤ると事故や故障の原因となります。

本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。

内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。

警告

- ❌ 本体の出力口に差し込んだ導子のプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。

プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。

- ❌ 電源コードや導子コードを傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。

- ❌ 電源コードや導子コードのプラグにゴミ、ほこりなどを付着させて使用しないでください。

発火、ショートなどの原因となります。

警告

- ❌ 導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。

注意

- ❗ 使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。

- ❗ 治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお求めの販売店またはお客様センター（裏表紙）に相談してください。

次の機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないでください。

危険

- ❌ 電源が入っていない状態で、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。

例) 電位（高周波を含む）電床マット
電気毛布や敷布
電気カーペット

電気毛布や電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。



警告

- ❌ 他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。

過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。

- ❌ 電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源を抜いてください。

誤作動や故障の原因となります。

本器を設置する際は、次の点に注意してください。

警告

- ❌ 水のかかる場所には設置しないでください。

注意

- ❗ 温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。

- ❗ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないよう、安定状態に注意してください。

正しく安全にお使いいただくために

2. 使用前のご注意

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

- | | |
|---|---|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">警告</div> <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ❗ 病名などがはっきりしない人 ❗ 悪性腫瘍のある人 ❗ 心臓に障害のある人 ❗ 妊産婦 ❗ 体温38℃以上（有熱期）の人
例1) 急性炎症症状〔けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など〕の強い時期
例2) 衰弱しているとき ❗ 安静を必要とする人 ❗ 血栓症の人 </div> </div> | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">警告</div> <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ❗ 血圧異常の人 ❗ 低温やけどをしたことのある人 ❗ 寝たきりの人 ❗ せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性〔とう（疼）痛性〕疾患の人 ❗ その他医師の治療を受けている人や身体に異常を感じている人 </div> </div> |
|---|---|

次の人は介護者のもとでご使用ください。

- | | |
|---|--|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">警告</div> <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ❗ マヒなどで身体が利かない人 </div> </div> | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">警告</div> <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ❗ 7～12歳の子供 </div> </div> |
|---|--|

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

- | | |
|---|---|
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">警告</div> <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ❗ 皮膚知覚が低下している人や部位 ❗ 成長期の骨端や骨が非常に突起した部位 ❗ 認知症の人や、意思表示ができない人 ❗ 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人 ❗ 睡眠薬を飲んだ人（判断能力を欠き事故の原因となります） </div> </div> | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">警告</div> <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ❗ 治療部位の皮膚が乾燥していることを確認してください。湿布剤、塗膏剤などが塗られていたり、汗などで濡れている場合は、必ず拭き乾燥させてください。

皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱傷の原因となります。 ⊘ おむつを使用している部位へは照射しないでください。

火傷などの危険があります。 ⊘ 絆創膏または湿布などの湿った包交物、磁気治療器などの金属物を含む絆創膏の上への照射は避けてください。 </div> </div> |
|---|---|

警告

！ 次のものを身に付けたまま使用しないでください。また、不明の場合は機器の販売店または製造販売元へお問い合わせください。

- 使い捨てカイロ
- 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
- 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン[®]繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン[®]繊維、ヒートテック[®]などの吸着発熱素材を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）

また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。

- 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
 - 磁気入り布団
 - 墨入り（炭素材など）の畳
 - ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳
- 火傷または熱傷などの事故の原因となります。

！ 全てのコード類は容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。

発火やショートなどの原因となります。



しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

！ 導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクターの接続不良などが無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。

販売店または製造販売元へお問い合わせください。

警告

！ 超短波導子を使用する際は、正しく装着してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。

⊘ 汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使用して治療をするのはおやめください。

⊘ 2つの導子が重なる状態で放置したり、重ね合わせて使用しないでください。また、コードを束ねたり、巻きつけて使用しないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

⊘ 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）の上に絶対に置かないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

注意

！ 操作スイッチ、タイマーなどが、正常に作動するか確認してください。

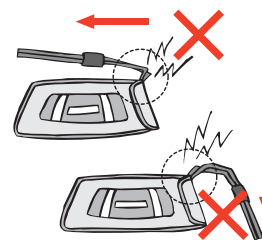
！ 導子コードは、超短波の影響を受けやすいもの（金属や炭素繊維など）と接触しないように配置してください。

⊘ 金属枠を使用したイスやベッドなどの上で使用しないでください。

ピリッしたり、火傷または熱傷の原因となります。また、治療中に周囲のイスやベッドなどの金属部や、他の人に触らないよう注意してください。

！ 下図のような方向にコードが引っぱられないように超短波治療器本体を置いてご使用ください。

コード付け根部分の芯線が断線しやすくなります。



正しく安全にお使いいただくために

3. 使用中のご注意

警告

- ❗ 本器に異常を感じたとき（異常音がする・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ❗ 身体に異常を感じたり、現れたとき（発赤など）は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

症状が悪くなることがあります。

- ❗ 治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。

- ⚡ 雷や地震、停電時は使用を中止し、操作スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

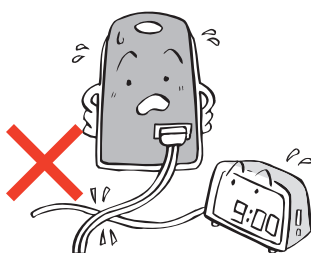
復帰時に事故や故障の恐れがあります。

- ❗ 超短波導子は素肌の上から直接あてず、またコードも直接素肌に触れないようにして必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。

- ❗ 導子に金属を接触させたり出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり他の電気のコードと交わらないようにしてください。

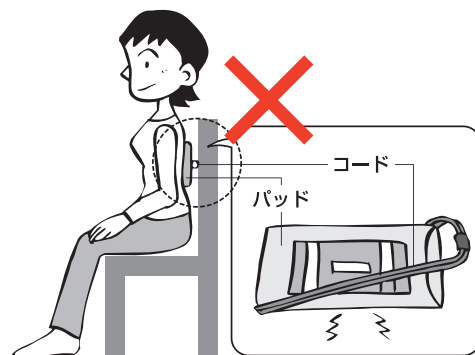
感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。



警告

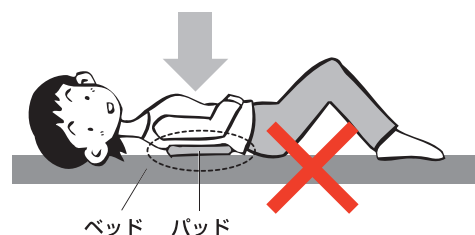
- ❗ 超短波導子のパッドとイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。

パッドがコードに作用して異常発熱する恐れがあります。



- ❗ 超短波導子のパッドが身体とイス・ベッド・床などの間で強く圧迫された状態でのご使用はお避けください。

パッドが発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床などが焦げる恐れもあります。



- ❗ 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷または熱傷を起こす恐れがあります。



警告

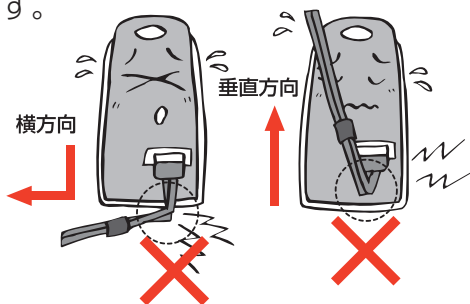
！ 使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。

また、身体異常（発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛みなど）が現れたり、感じたときは、直ちに使用を中止してください。

中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。

⊘ 使用中、下図のような方向に超短波導子のコードを引っぱらないでください。

プラグの根元や内部で断線しやすくなります。



！ 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また長時間の使用や使用方法、出力設定などによっては更に温度が上昇することがあります。

注意

！ 治療中に、電話（携帯電話を含む）やテレビのリモコン、パソコンなどの電気機器を使用する際は、超短波導子（コード含む）がそれらの電気機器類に接触しないようご注意ください。また、インターフォンや自動ドア、火災報知器などのセンサーの近くで使用しないようご注意ください。

ノイズや誤作動、故障の原因となる可能性があります。異常を感じたときは直ちに使用を中止してください。

⊘ 治療中にむやみに超短波導子やコードに触れないようご注意ください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

チリッと熱い感覚を受けることがあります。

！ 緊張せず快適で、しかも本器を使いやすい姿勢で治療してください。

⊘ 使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、抜くときは電源が切れていることを確認してから行ってください。

事故や故障の原因となります。

正しく安全にお使いいただくために

4. 使用後のご注意

注意

- コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行うと断線やショートなどの原因となります。



- 次回の使用に支障がないように清浄にし、付属品収納袋に入れて、整理保管してください。

また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどもしないでください。

変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

- 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保守・点検に係る事項」を参照してください。

注意

- 操作スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。

- 使用を中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

導子のプラグもコンセントから抜くなど、使用前の状態に戻してください。

- 導子カバーは定期的に洗濯するなど、常にきれいな状態でご使用ください。

- 電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

保管方法及び有効期間等

保管場所については次の事項に注意してください。故障の原因になることがあります。

警告

- 風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、湿度の高い場所やほこりの多い場所ならびに水のかかる場所に保管しないでください。

機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体の変形や、火災や感電などの原因となります。

注意

- 温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより品質に悪影響を及ぼす恐れのない場所に保管してください。

機器の寿命を縮め、火災や感電などの原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- お子様の手の届かない所に保管してください。

落としてけがや破損の原因となります。

- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないよう、安定状態に注意してください。

取扱上のご注意

警告

濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。

感電の原因となります。

機器を他にぶつけたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。そのときに異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。

誤って落とした場合は必ず点検を受けてください。

機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

警告

一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。

点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。

注）販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに、「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。

間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

保守・点検に係る事項

1. 機器の故障及び改造に関する注意事項

警告

本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。

故障かなと思ったら使用を中止し、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。



本体および付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。

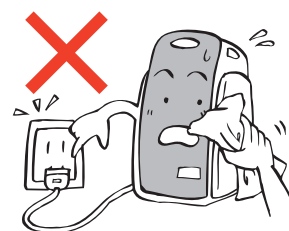
本体ケースは絶対に開けないでください。

内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

警告

本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電などの事故の原因となります。



超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。

また、使用頻度、条件により異なりますが、ご家庭で通常の使用状態で、年1回は点検を受け、付属品は遅くても3年以内で早めに交換してください。

万一、コードに折れやキズ、焦げ跡があったら使用を中止し、早めに交換してください。

正しく安全にお使いいただくために

1. 機器の故障及び改造に関する注意事項（つづき）

警告  3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合があります。

警告  本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。

使用状態・条件により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

2. 使用者による保守点検事項

警告  機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。

 しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヵ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

警告  スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

 事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、電源プラグやコネクタの接続不良など）が見られた場合は必ず販売店または、製造販売元にご連絡ください。

3. 業者による保守点検事項

注意  性能を維持し、安全に使用するため、定期的（1年を目安）にお求めいただいた販売店または、製造販売元に「定期点検」を依頼してください。

注意  消耗部品（付属品を含む）は定期的に交換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

保守・点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による
安全操作	導子を接続し、通常の治療状態で導子を抜いたとき、エラー表示となり出力が停止することを確認する。	操作確認

交換部品及び消耗品

名 称	交換方法	交換時期
導 子	販売店または製造販売元に依頼	点検により劣化が認められたとき 購入から3年が目安
装着ベルト	販売店または製造販売元に依頼	点検により劣化が認められたとき

エラー (E1、E2) について

誤った使い方をした場合、タイマー表示部に「E1、E2」のエラーが表示されます。同時に「ピーピーピー」という警告音が鳴ります。

E1の表示は故障ではありませんが、下記の対応をされてもエラーが表示される場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または、製造販売元へお問い合わせください。

表 示	主 な 状 況	対 応
E1	◎導子のプラグが出力口に正しく差し込まれていない。 ◎または、プラグが抜けている。	確実に導子のプラグを出力口に差し込み、出力スイッチを押してください。
E2	◎本体に異常が考えられる。	電源を入れ直してください。それでも表示される場合は使用を中止し、販売店または製造販売元へご連絡ください。

雑音を低減するための注意

- 治療中に、電話（携帯電話を含む）やテレビのリモコン、パソコンなどの電気機器を使用する際は、超短波導子（コード含む）がそれらの電気機器類に接触しないようご注意ください。
- インターフォンや自動ドア、火災報知器などのセンサーの近くで使用しないようご注意ください。
- 他の電気機器とは別のコンセントを使用することをおすすめします。

ひまわりSUN2の構成内容

本器を初めてご使用に

本 体

※本体の各部名称とはたらきは、P.16～17をご覧ください。



製 品 名	ひまわりSUN 2
定 格 電 源	AC100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	165W
発振周波数	27.12MHz
超短波出力	40W
タイマー	0～30分
本体寸法(mm)	435(高さ)×180(幅)×385(奥行)
本 体 重 量	約 6 kg

なる前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

標準付属品



オレンジ導子〈Sひまわり〉1個

(装着ベルト〈L・AW〉付き)

※使い方はP.20~21

治療する部位にあてて使います。



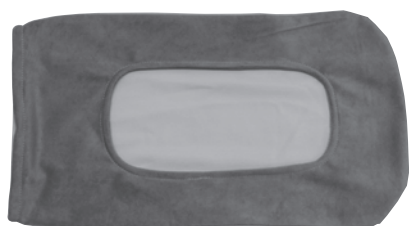
ピンク導子〈Sひまわり〉1個

※使い方はP.20~21

治療する部位にあてて使います。



付属品収納袋 1枚



導子カバー 1枚

(オレンジ導子〈Sひまわり〉用)

※使い方はP.23

オレンジ導子〈Sひまわり〉用のカバーです。

納品時はオレンジ導子〈Sひまわり〉にセットされています。



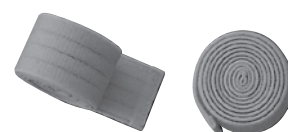
導子カバー 2枚

(ピンク導子〈Sひまわり〉用)

※使い方はP.23

ピンク導子〈Sひまわり〉用のカバーです。

納品時はピンク導子〈Sひまわり〉にセットされています。



装着ベルト〈L〉 2本

※使い方はP.20~21

導子を固定するのに使います。

別売オプション品

より効果的な超短波治療を行うために



ピンク導子〈S・関節〉



ピンク導子〈肩〉

本体の各部名称とはたらき

電源スイッチ

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。電源が入るとタイマー表示が「0」分を表示します。

◆「入」の状態

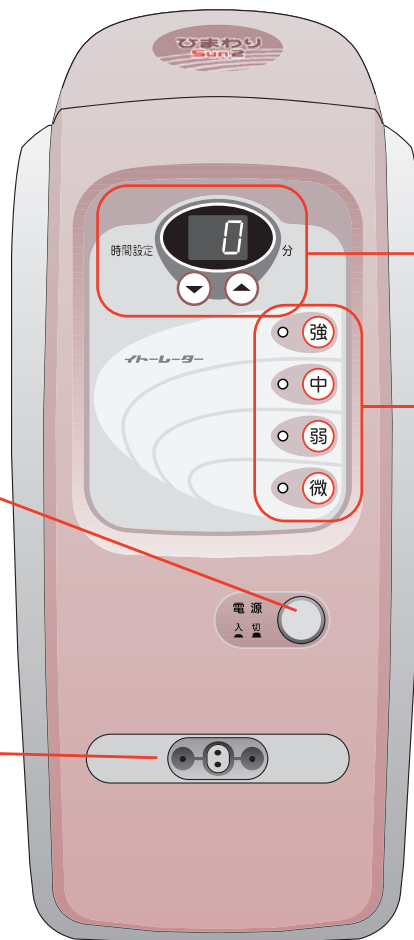
◆「切」の状態



出力口

各導子のプラグを差し込みます。

※プラグは確実に差し込んでください。不完全ですとタイマー表示にエラーを表す「E1」が表示されます。



取手

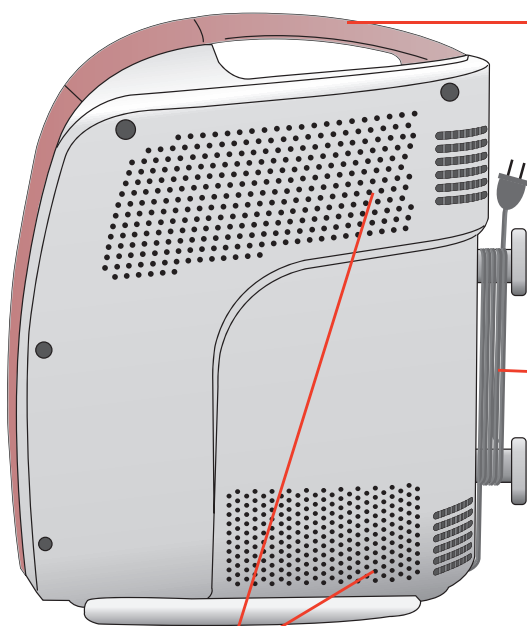
移動の際はしっかり持って行ってください。

※取手の裏側に爪をひっかけないよう注意してください。

電源コード（プラグ）

家庭用コンセント（100V）にプラグを差し込みます。使用しないときは必ずコンセントから抜いてください。

※電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

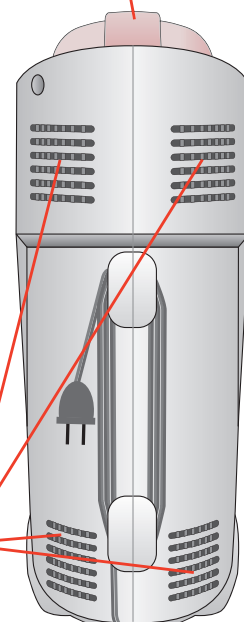


通気孔（背面・側面）

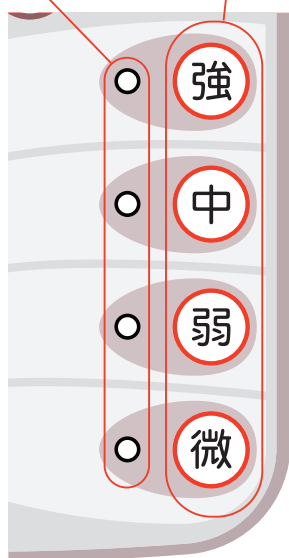
通気孔をふさがないでください。壁に寄せて使用しないでください。

※本体内部が熱をもち、故障や発火の原因となります。

また、通気孔につくほこりを定期的に掃除機などで吸い取ってください。



出力表示 出力スイッチ



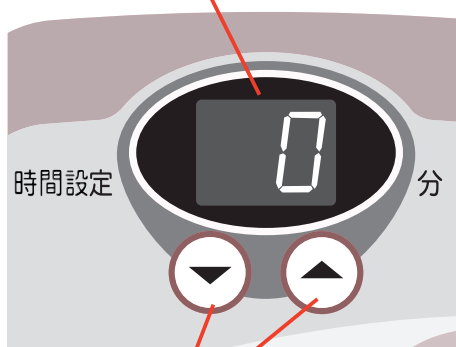
◆出力スイッチ

- ・「微・弱・中・強」から出力を選びます。選んだ出力の出力表示が点滅し、治療時間「20分」が自動的に設定されます。

◆出力表示

- ・出力スイッチで選んだ出力表示（微・弱・中・強）が「点滅」します。
- ・オートチューニング（出力の自動同調機能）が作動します。
- ・「点灯」に変わるとオートチューニングが終了し、治療を開始します。

タイマー表示



タイマースイッチ

◆タイマースイッチ

出力調節を選ぶと治療時間は「20分」を自動設定します。治療時間を5分刻みで、最大30分まで設定できます。
※0分表示のときは時間の変更・設定はできません。

○治療時間を長くする場合



を押します。

一回押すごとに下のように変わります。

20分 → 25分 → 30分

○治療時間を短くする場合



を押します。

一回押すごとに下のように変わります。

20分 → 15分 → 10分 → 5分 → 0分

◆タイマー表示

1分ごとに数字が減少し、「治療の残り時間」を表示します。

※0分表示のときは超短波を出力していません。

◆エラー表示

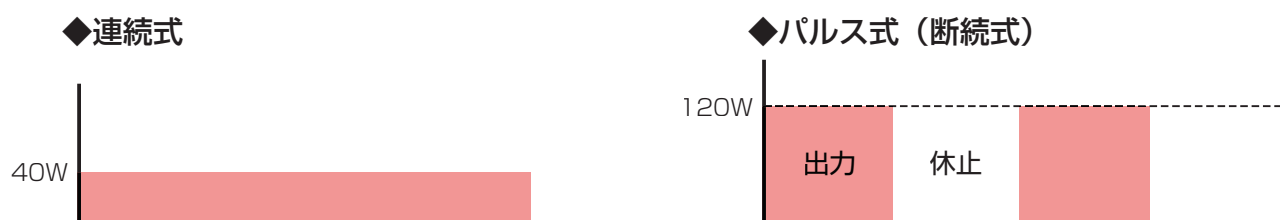
誤った使い方をした場合、タイマー表示に「エラー（E1～E2）」が表示されます。

※詳しくはP.13をお読みください。

ひまわりSUN2の主な特長

より高い温熱効果のパルス式（断続式）

- 1 「パルス式」は出力と休止を交互に行いながら超短波を断続的に発振します。
- 2 連続式出力の超短波治療器に比べ、パルス式は瞬間的に約3倍の超短波エネルギーが出力されます。
- 3 断続式出力のパルス式は、穏やかな温感があり、安全性を考えた設計です。
- 4 その結果、さまざまな部位の超短波治療が行えます。



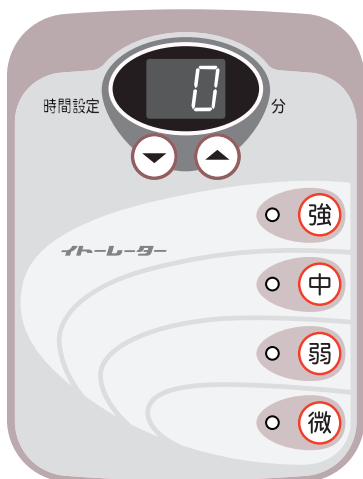
超短波の使用目的又は効果

超短波による局所の温熱効果 使用目的：一般家庭で使用する

- 疲労回復
- 筋肉の疲れをとる
- 血行をよくする
- 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
- 筋肉のこりをほぐす
- 胃腸の働きを活発にする



使いやすく、安全性を考えた設計



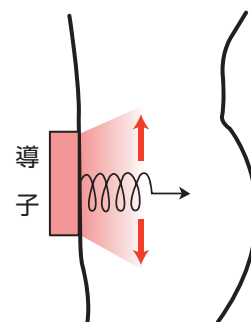
- 1 出力調節も時間設定も分かりやすく、一目で確認できます。
- 2 誤った操作などを「エラー表示」で知らせます。
※P.13をご参照ください。

**オレンジ導子〈Sひまわり〉(コイル式) または
ピンク導子〈Sひまわり〉(コンデンサー式) で目的に合った治療を行う。**

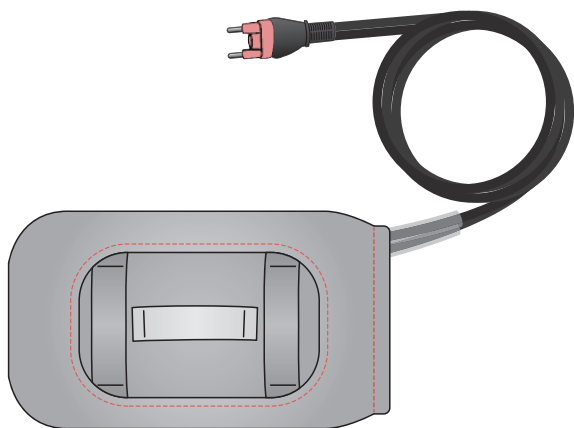
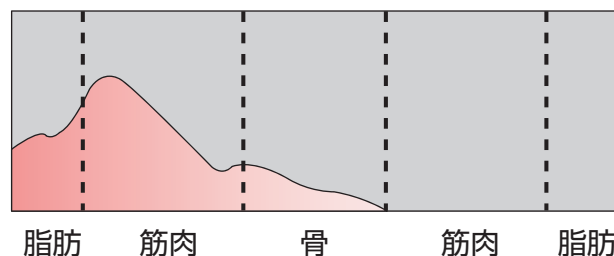
オレンジ導子〈Sひまわり〉(コイル式)

コイル式は超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。(右イラスト参照) そのため、脂肪層に囲まれた胃や腸の働きを活発にするのに役立ちます。

◆コイル式の
伝達イメージ図



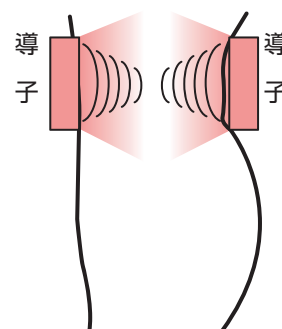
◆コイル式の温度推移 (照射後)



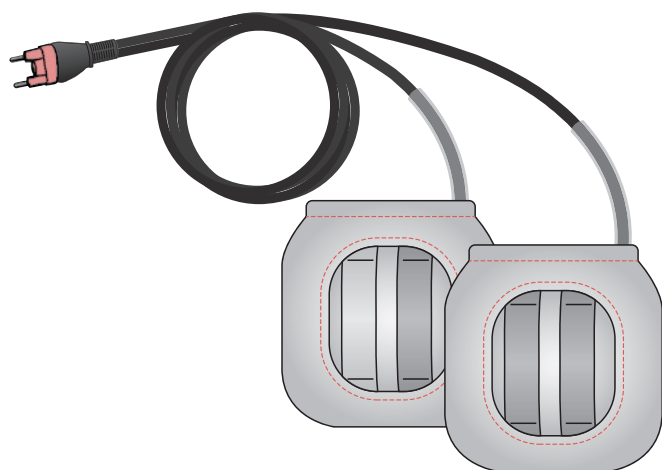
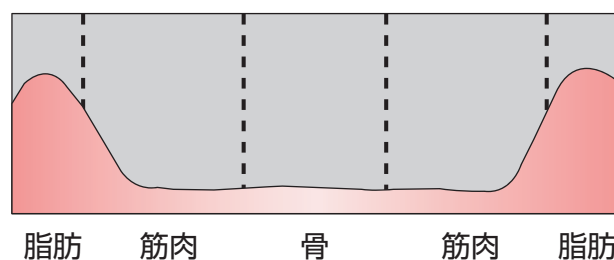
ピンク導子〈Sひまわり〉(コンデンサー式)

コンデンサー式は治療部位を挟んだり、並べて使う導子です。脂肪層の少ない肩や膝などの治療に役立ちます。

◆コンデンサー式の
伝達イメージ図



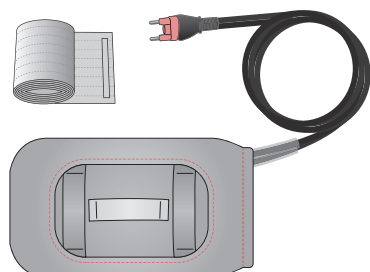
◆コンデンサー式の温度推移 (照射後)



基本的な使用例

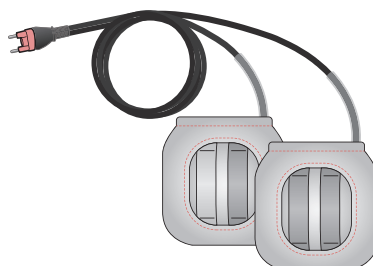
治療にあたって

オレンジ導子〈Sひまわり〉(コイル式)



超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。脂肪層に囲まれた胃や腸の内臓の働きを活発にするのに役立ちます。

ピンク導子〈Sひまわり〉(コンデンサー式)

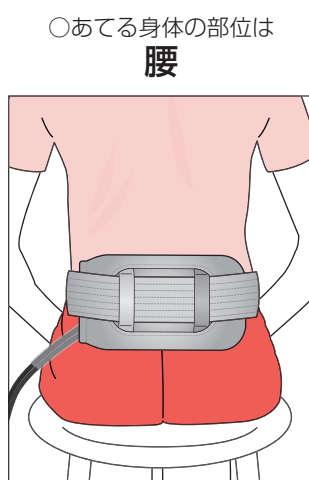
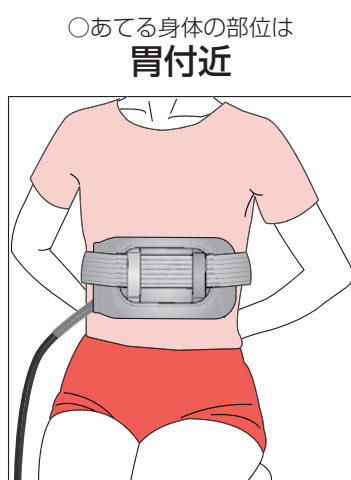
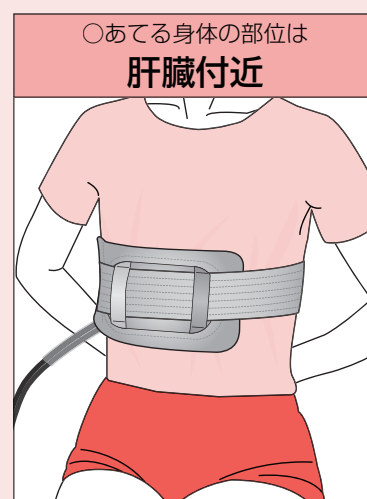
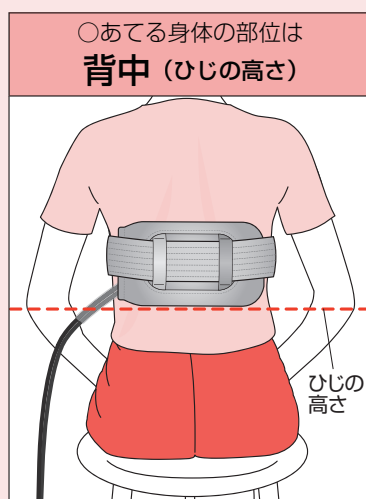
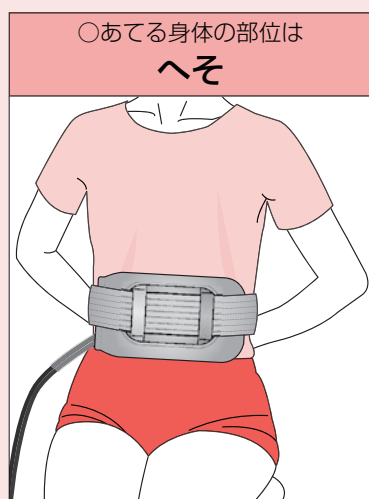


治療部位を挟んで使用します。脂肪層の少ない肩や膝、足首などへの治療に役立ちます。

オレンジ導子〈Sひまわり〉(コイル式)の使用例

脂肪層に囲まれている腹部はオレンジ導子〈Sひまわり〉(コイル式)を使いましょう。

基本療法

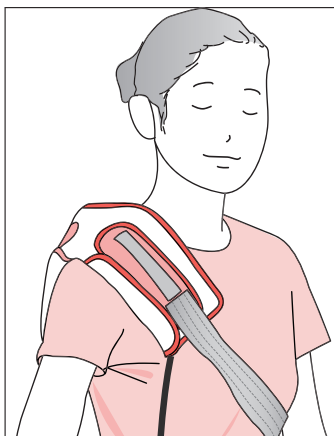


ピンク導子〈Sひまわり〉（コンデンサー式）の使用例

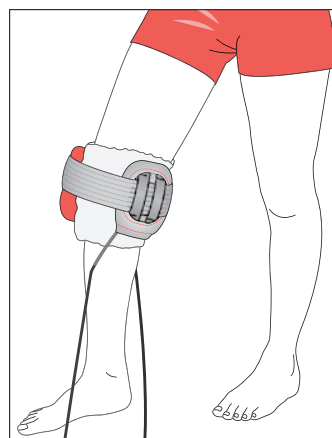
脂肪層の少ない肩や膝などの部位はピンク導子〈Sひまわり〉（コンデンサー式）を使いましょう。

肩にあてる

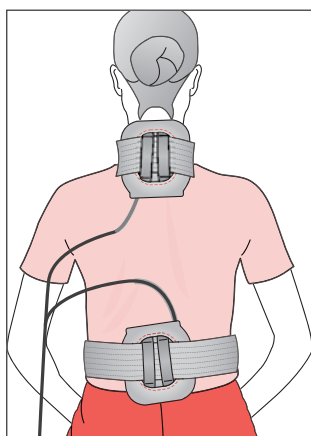
※別売オプション品ピンク導子〈肩〉を使用



膝にあてる



せきずいにあてる

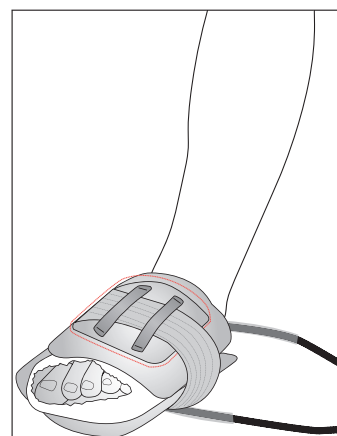


首にあてる

※別売オプション品ピンク導子〈S・関節〉を使用



足にあてる



出力は弱めに、治療時間は短めにしてください。



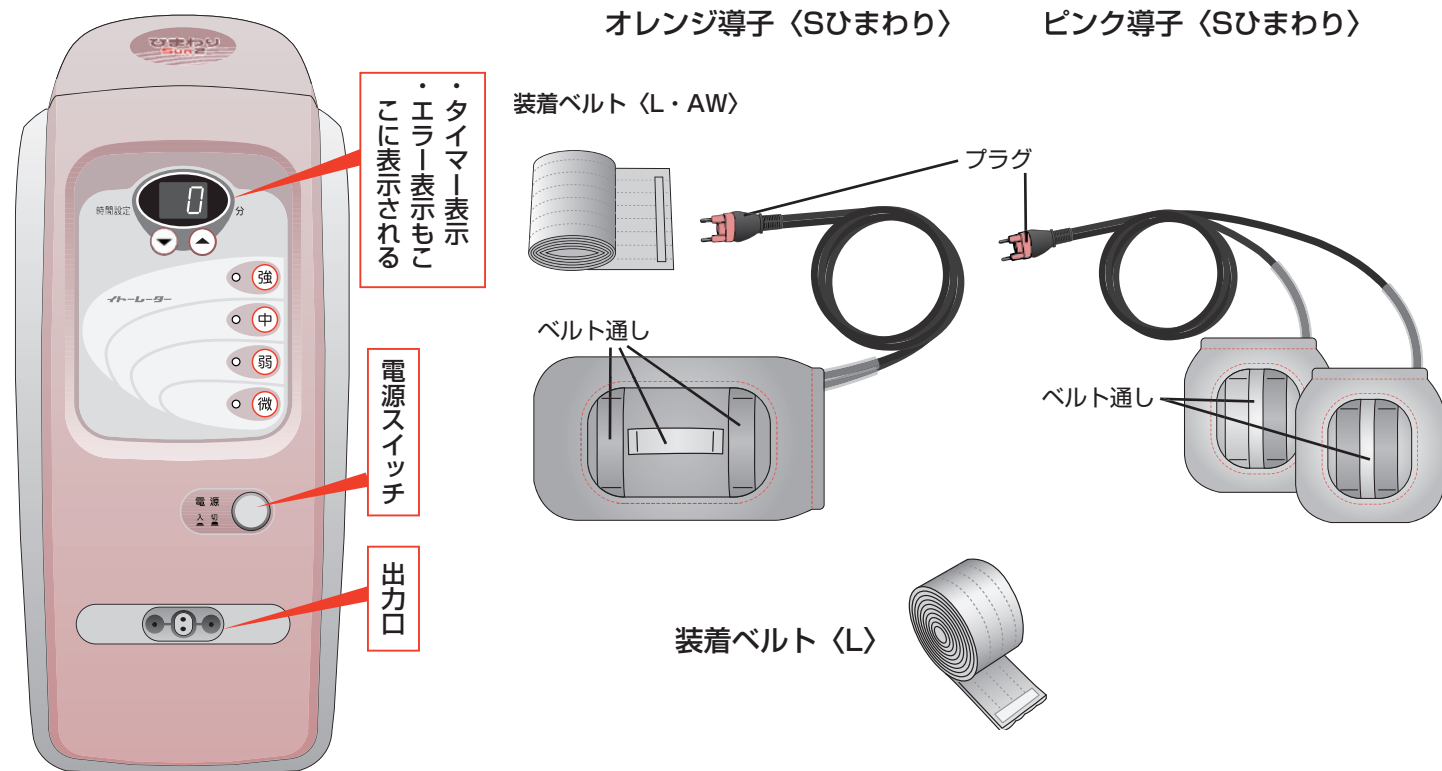
導子を装着する際の警告

下記の点に注意して、正しく導子を装着してください。

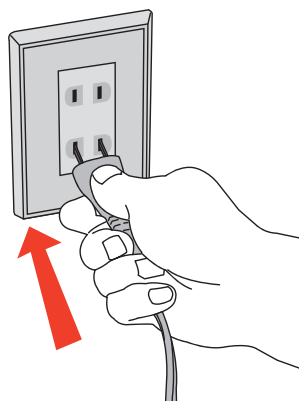
- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は身体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- 電位（高周波・負電荷を含む）電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療するときは皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく動作するか確認してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 導子は必ず装着ベルトで固定してください。
- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。



使用順序1 〈準備〉

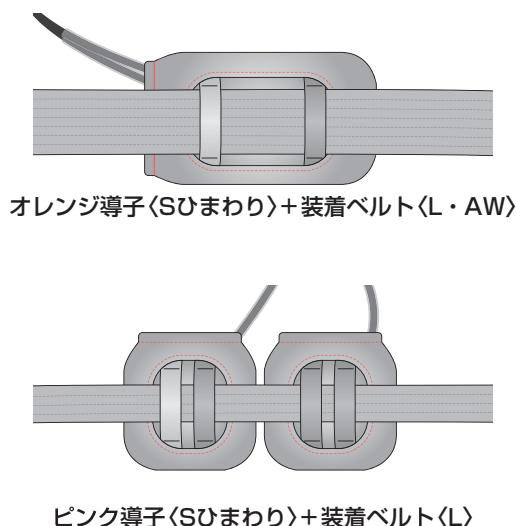


1 電源プラグを差し込む



- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。

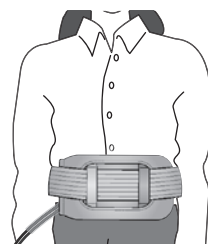
2 導子をセットする (導子カバー、装着ベルト〈L・AW〉または〈L〉)



- 治療部位によって、オレンジ導子〈Sひまわり〉またはピンク導子〈Sひまわり〉を選びます。
- オレンジ導子〈Sひまわり〉には装着ベルト〈L・AW〉を、ピンク導子〈Sひまわり〉には装着ベルト〈L〉を通します。

3 治療部位にあてる

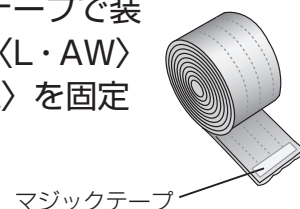
- 導子はベルト通しのついていない面を身体にあてます。



※身体にあてる面は

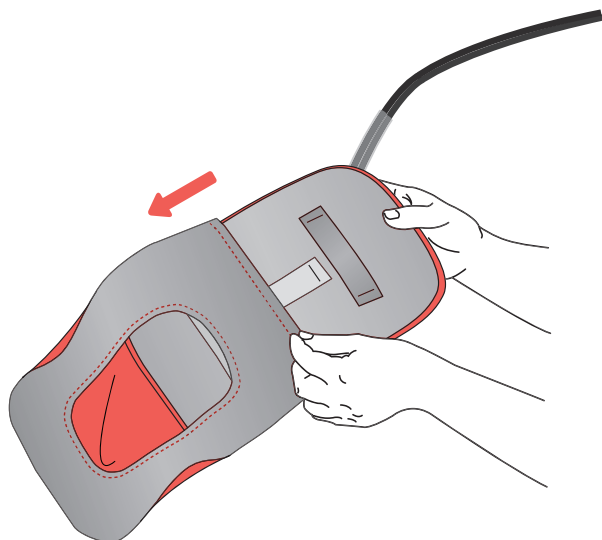


- マジックテープで装着ベルト〈L・AW〉または〈L〉を固定します。

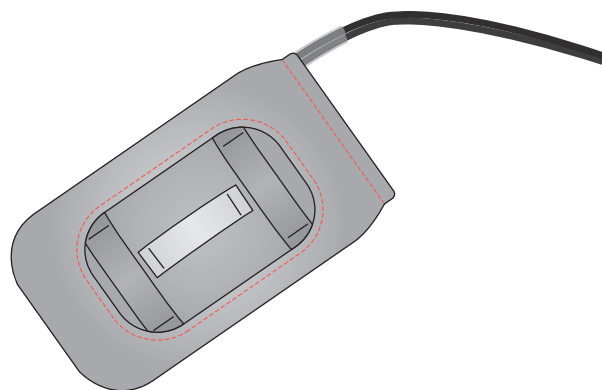


導子カバーのセット

※下記のセットの仕方はオレンジ導子〈Sひまわり〉もピンク導子〈Sひまわり〉も同じです。

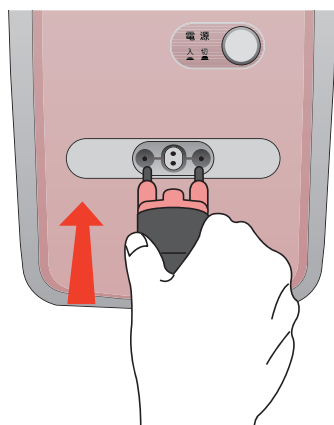


①導子カバーの開いた口から導子を入れます。導子のベルト通しがカバーの穴から見える向きにセットします。



②奥まできちんと入れた状態で、導子のベルト通しが確認できればセット完了です。

4 導子のプラグを差し込む



●導子のプラグを出力口に確実に差し込みます。

エラー E1 分について

導子のプラグが出力口に正しく差し込まれていなかったり、抜けていたりすると「ピーピーピー」と警告音が鳴り「E1」が表示されます。出力口に確実に差し込んでください。

※詳しくは、P.13「エラー（E1、E2）について」をお読みください。

5 電源を入れる



●電源スイッチをしっかりと押して（カチッ）、電源を入れます。

※電源スイッチが「入」になっていることを確認してください。

※導子が接続されたことを自動認識します。

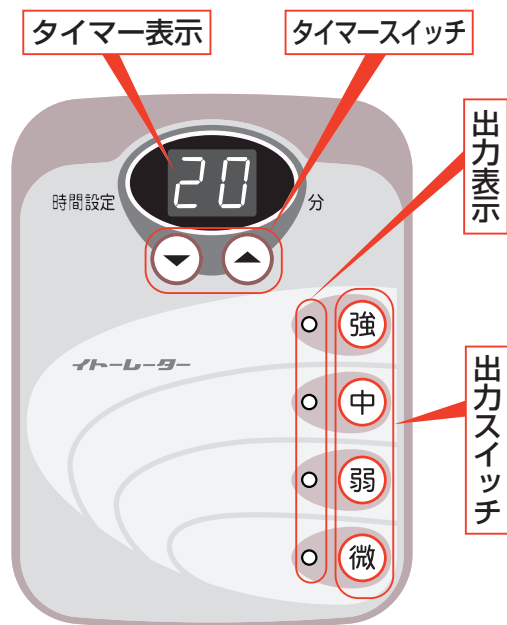
6 「0」分を表示する



●タイマー表示が「0」分を表示します。

※この時点ではタイマーの設定はできません。出力を選択してから（次のページ）治療時間を設定してください。

使用順序 2



1 出力を選択する



- 出力スイッチを押して、出力（微・弱・中・強）を選びます。

- 選んだ出力の出力表示が点滅します。

※点滅時はオートチューニング中です。導子に触れたり、身体を激しく動かしたりしないでください。

- 同時にタイマー表示（治療時間）が20分を表示します。

2 治療を開始する



- 出力を選択して約10秒後、出力表示が点滅から点灯に変わり、治療を開始します。

※導子が本体から外れたりすると“ピー・ピー・ピー”というエラー音とともにエラー表示（E1）が表示されます。

※P.13「エラー（E1、E2）について」をお読みください。

※使用中に本体から多少の音が出ますが、異常ではありません。

3 治療時間を設定する ……



- タイマースイッチで、治療時間を変更することができます。

▲を押すとタイマー表示が次のように変わります。

20分 → 25分 → 30分

▼を押すとタイマー表示が次のように変わります。

20分→15分→10分→5分→0分

※注意：タイマー表示が0分になると出力が停止します。また、続けて使用する場合は、「1:出力を選択する」に戻り出力調節、時間設定の順で操作してください。

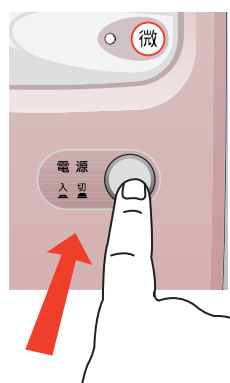
※治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。



注意

- 使用前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動することを確認してください。
- 濡れた手でコード類の抜き差しをしないでください。
- コード類はプラグを持って抜き差ししてください。
- 治療中に、電話(携帯電話を含む)やテレビのリモコン、パソコンなどの電気機器を使用する際は、超短波導子(コード含む)がそれらの電気機器類に接触しないようご注意ください。
- インターフォンや自動ドア、火災報知器などのセンサーの近くで使用しないようご注意ください。
- 使用中、プラグの抜き差しをしないでください。
- 他の人や金属類に触れないでください。
- 温感が高いと感じたら我慢せずに使用を中止してください。
- 汗をかいたら拭き取ってください。
- 本器や身体に異常を感じたら使用を中止してください。
- 使用中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

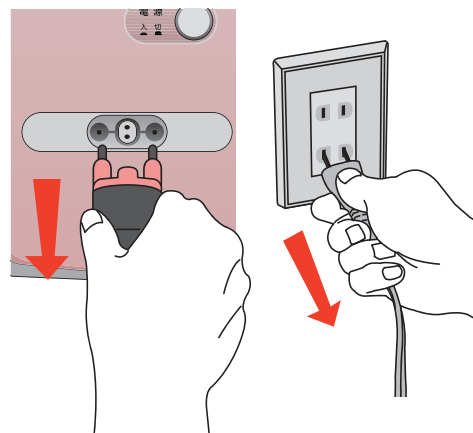
4 治療の終了と延長



- タイマー表示が0分を表示すると、出力表示が消灯し、出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、使用順序2「1：出力を選択する」に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチをしっかりと押して( の状態)、電源を切ります。

※治療中ならびに治療の終了後も、本体内部を冷却するファンがまわります。ファンは治療の終了後3分で止まります。

5 整理と保管



- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

※付属品収納袋をご使用ください。

中断と再開について

- 治療を中断する場合は、タイマースイッチ  を押して、時間設定を「0」分にします。
- 治療を再開する場合は、使用順序「1：出力を選択する」に戻り、手順に従ってください。

⚠ 中断時の注意

長時間中断する場合は必ず電源を切ること。

故障かな？と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状	調べるところ・原因・対策
電源が入らない	電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていますか？
出力スイッチを押しても出力表示のランプが点灯しない	導子がきちんと差し込まれていますか？ →タイマー表示部に「E1」と表示されます。 ※P.13「エラー (E1、E2)について」をお読みください。

●電源プラグやコネクター、コード類は、定期的に点検・交換してください。



注 意

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

症 状	原 因 ・ 対 策
コードのカバーが傷んでいる	電源プラグやコネクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源プラグやコネクター、コードの一部が熱い	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する	

**定期点検を
受けましょう！**

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に付属品は消耗品ですので、定期的に点検し交換してください。

※使用状態により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

**お客様
センター**

ご不明な点がございましたら
お気軽にお電話ください。

TEL. 048 (254) 1019

受付：平日（月～金曜日）

午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

操作早わかり



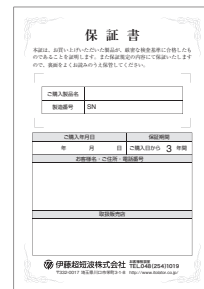
本取扱説明書の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いください。

お客様安心サービス

保証書とユーザー登録カードについて

保証書について

修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。



保証書

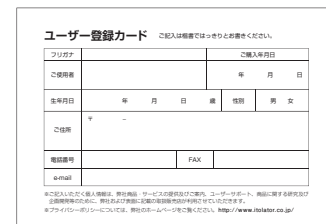
※保証は、お買い求めいただいた製品が、通常の使用を前提として使用されていることと保証します。また保証期間中の修理について保証いたしますので、修理をより迅速かつ正確に行うために、保証書に記入をお願いします。

ご購入者氏名	
住所	
ご購入年月日	保証期間
年 月 日	年 月 日
ご購入店名	
ご購入店住所	
ご購入店電話番号	
伊藤超短波株式会社	
〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8	
TEL:048(254)1015 FAX:048(254)1049	
http://www.itolator.co.jp/	

ユーザー登録カードについて

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。



ユーザー登録カード

※記入は任意で必ず記入する必要はありません。

フリガナ	ご購入者氏名	
ご使用年	年 月 日	
生年月日	年 月 日	性別 男 女
ご住所	〒 - -	
電話番号	FAX	
お名前		

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。

※プライバシーポリシーについては、弊社ホームページをご覧ください。http://www.itolator.co.jp/

アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

お客様センター

TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステム ISO 13485 を取得しています。

健康セミナー

健康に関するさまざまなテーマを取り上げ、情報を交換したり、健康相談をしたりして充実したひと時を過ごせるイベントです。どなたでもご自由に参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

※詳しくは、お買い上げの販売店または、最寄りの営業所までどうぞ。
※各地でのセミナー開催スケジュールにつきましては、当社ホームページをご覧ください。



製造販売元  伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8

☎048(254)1015

https://www.itolator.co.jp/



コンシューマー営業部

東日本営業所（埼玉県）☎048(254)1016

西日本営業所（広島県）☎082(292)3320

販売店